

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1. 日時 令和8年3月28日(土) 10:00~12:00

2. 場所 ひなたホームズまるあんホーム

3. 出席者

【構成員】7名

利用者 2名(まるあんホーム1名 おくにあんホーム1名)

利用者家族 2名(まるあん1名 おくにあん1名)

地域の関係者 2名(おくにあん地域の班長 まるあん近隣住民)

福祉に知見のある方 1名(近隣グループホーム管理者)

【職員】2名

管理者(サービス管理責任者) 生活支援員

概要

(ア)施設見学(10:00~)

① おくにあんホーム見学

② まるあんホーム見学

(イ) 会議(11:00~)

① 管理者挨拶 年度末のお忙しい中急遽お願いにも関わらず会議への参加に感謝を述べ地域推進会議の目的を説明した。

② 出席者の自己紹介 各自で自己紹介をした。

③ ホーム概要説明

おくにあんホームは、女性のホームで4名で60代と80代の方が入居して日中は鴨川ひかり学園(生活介護)に平日通っている。

まるあんホームは、男性のホームで5名で40代~60代の方が入居して日中は鴨川ひかり学園(生活介護)に平日通っている。

(ウ) 質疑応答 意見交換(感想)

(福祉に知見のある方) 献立は、どうしているか?

(回答) 職員が家庭で食べているメニューで献立表を作成し、毎日買物をして朝食は、夜勤者 夕食は、世話人が調理し、週末の昼食は支援員が冷蔵庫に残った食材で調理している。生もの等は、当日購入している。

(まるあんホーム利用者家族) 偏見の目で見られることがあったが、薄光会を利用し、現在グループホームで良くしてもらっており、ありがたい。障害があってもなくても家族は大事で親はいつまでも親である。

(おくにあん地域の班長) 地域の方が集まって見学することで障がい者への理解を広めていくお手伝いができれば。

(まるあんホーム近隣住民) ホーム建設説明会の際には、障がい者は怖いんじゃない、脱走してくるんじゃないと思う方もいたが、安馬谷地域の方は、他所からの移住者が多く、比較的の良い方でホーム入居者の方も地域のゴミゼロ等に参加し、関係が出来ている。今回このような機会を頂き、外から見るのとまた違う一面を見ることが出来たので地域の多くの方へ広めていきたい。

(おくにあん利用者家族) 親は障害のある子どもを一生面倒見ようと子離れ出来なかったが、薄光会は、障害を持った親御さんが立ち上げた法人であり、共感して地域の住民として生きて行くために住居を提供し、現在は安全に安心して生活が送れている。

(福祉に知見のある方) 目指すところは一緒に、共生社会。利用者がいて良かったと思える事業所を地域の枠を超えた連携が出来たら良いと思う。

(工) 閉会の挨拶

(管理者) 今後も地域の輪を広げていきたいので定期的に行っていきますので今後ご協力をお願いします。本日はありがとうございました。